

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	「鉱石の道」産業遺産エコ・パーク地域マネジメントプロジェクト
対象地域	ひょうごけんあさごしいくのちょう 兵庫県朝来市生野町（中核地区：口銀谷地区）
対象地域の概要	 【位置図】  【かつて賑わった街の通りも今は閑散】  【古民家（町家）の空家が増えている】
提案内容の概要	生野鉱山の歴史文化や産業遺産を資源に地域全体を「鉱石の道」産業遺産エコ・パークとしてとらえ、NP0 いくのライブミュージアムを中核とした住民参画型の観光まちづくりに取り組み、生野鉱山ゆかりのコミュニティビジネスの創出を図り、交流人口（＝地域リピーター）の拡大をめざす。
提案する活動の内容 （1）地域の課題	対象地域の概要に記載した生野町の現状と閉山後の地域の衰退に歯止めをかけるべく、活性化に向けて注目した地域資源が生野鉱山の近代化産業遺産である。平成9年の調査事業を契機に、地域住民による町並み保存活動が始まり、「口銀谷の町並みをつくる会」や「いくの銀谷工房」等の住民グループが誕生し、平成15年には江戸時代の郷宿を「生野まちづくり工房・井筒屋」に再生した。また、「いくのTMO」や「生野もりあげ隊」等が誕生し、地域商業の活性化や地域活動への若者の参画に鉱山文化が活用されるようになった。平成17～18年度には産業遺産ツーリズムの社会実験に着手し、これが、NP0 いくのライブミュージアムの礎となる。しかし、企画コーディネート、地域マネジメント、広報活動等の取り組みを、トータルな視点で管理運営する機能はまだ未成熟であり、持続可能な地域活動の創出に向けて、運動（まちづくり活動）から事業（コミュニティビジネス）への転換が必要である。加えて、町家の空家の点在、登録文化財の町家の活用（公開等）、生野鉱山ゆかりの逸品の不足、担い手（地域後継者）不足等も顕在化しており、地域資源の活用は充分とはいえない。
（2）活動内容の案	活動①：生野鉱山ゆかりのコミュニティビジネスの創出 内容：昨年度設立したチャレンジショップ出展者組織をメンバーを軸に、生野産の資源を活用した加工品のブランド化を行い、特産品を活用した活性化を図る。また、古民家（生野銀山まち口番所）を活用して、生野鉱山ゆかりの農産物（岩津ネギ）等の販売（朝市の開催）に取り組み、「NP0 いくのライブミュージアム」が集出荷を支援し、小規模生産者（農家等）の掘り起こしと連携体制の基盤をつくり、耕作放棄地の利活用の促進をめざす。 活動②：鉱山町の歴史文化の継承に向けた古民家活用方策の検討 内容：昨年度に実施した「生野鉱山タイムマシン地域体験プログラム」の地域ガイドを講師に招き、地域住民を対象とした研修会（鉱山まちナビ研修会）を実施し、鉱山での仕事や町の昔話等を学び、薄れゆく鉱山町の記憶を語り伝え、鉱山町の歴史文化の継承と地域住民の誇りづくりを通して、地域遺産を

	活用した地域コミュニティの形成を図る。さらに受講生を「鉱山まちナビ」として登録（10名を目標）し、古民家（生野銀山まち口番所）に配置して、リピーター型の地域間交流の構築をめざす。
応募団体名	とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人いくのライブミュージアム
リンク	http://www.ikuno-akindo.com/live_museum/index.html
部局／担当者名	生野町商工会 三浦 健太
連絡先	679-3301 兵庫県朝来市生野町口銀谷512番地生野町商工会内 TEL 079-679-2233 FAX 079-679-2585 直通: ikusho-2@helen.ocn.ne.jp
推薦市町村名	兵庫県朝来市